

「国立市富士見台地域重点まちづくり構想（案）」に対する市民からの意見募集の実施報告

◎募集期間：令和3年4月5日(月)～令和3年4月19日(月)

◎件数：18件

「国立市富士見台地域重点まちづくり構想（案）」(以下、構想という)に対して、多様な視点から、たくさんのご意見やご指摘、そして、取組アイデア等をお寄せいただきありがとうございました。
 いただいたご意見等に対する市の考え方を公表します。なお、公表する「ご意見の要旨」は、いただいたご意見等の趣旨を損なわないように要約をしておりますので、ご了承ください。

ご意見の要旨	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・富士見台ミーティングや各プロジェクトの検討の場に、しょうがいを持つ市民が参加できるしくみを検討願います。 ・しょうがいのある市民の意見を聞く場の設置を検討願います。 	<p>富士見台地域のまちづくりを進めるにあたり、これまで同様、ソーシャルインクルージョンの理念に基づき、様々な立場の方が参加しやすいよう努め、多様なご意見を聞いていきます。</p> <p>「05 構想の実現に向けて (P-112)」に示したように、重点プロジェクトを着実に進めるため、市民、地域活動団体、行政、事業者等が連携・協働していく場として富士見台ミーティングを継続していくことを予定しております。</p> <p>今後、富士見台ミーティング等にご参加いただくなど、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>(富士見台ミーティングとは：市民をはじめ、まちづくり関係者であれば、だれでも気軽に参加し、意見を言い合える、開かれた検討の場)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に対応した人口動態を分析のうえ、高齢者の意見を聞くとともに、まち全体のバリアフリー化を検討願います。 ・バリアフリーのまちづくりを検討願います。 	<p>構想では、どのような考え方で、まちの整備や取組を進めていくか大きな方針として「6つの整備方針 (P-024~031)」を示しました。</p> <p>その中の方針2「気軽に外出したくなる環境を整える (P-027)」では、構想づくりの過程で出された多くの意見の中からバリアフリー化や移動手段、外出に関連する意見を、整備方針に基づきまちをよくする取組としてまとめていますが、ご指摘のとおり、これらの整備方針を踏まえ、各重点プロジェクトを推進していきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・構想において、市民と共に考える理念や方策をしっかりと、長年市民が果たしてきた役割や歴史についての評価を願います。 	<p>ご指摘のとおり、これまで長年市民が果たしてきた取り組みや役割は、まちづくりにとっても非常に重要で、まだまだ評価が十分ではありません。</p>

■ 「国立市富士見台地域重点まちづくり構想（案）」に対する市民からの意見募集の実施報告

ご意見の要旨	市の考え方
	<p>そのため、重点プロジェクト 01「市民まちづくりプロジェクト 100（通称：市民 100 プロ）（P-040~043）」では、これまでの市民の皆様の日常的な取り組みをまちづくりに関連付け、まちへの関わりとして再評価することを試みます。</p> <p>市民 100 プロの運用方法については、「3 始めよう、市民 100 プロ（P-113）」で示したように、これから皆様と話し合っていく予定です。ご協力のほどよろしくお願いいたします</p>
<p>・重点プロジェクト 01「市民まちづくりプロジェクト 100」のイラストに記載された表現の中で「いつでもどこでも まちの情報が知れる」について違和感があります。</p>	<p>「いつでもどこでも まちの情報を知ることができる」に修正いたします。</p>
<p>・矢川プラスでさくらフェスティバルのような楽しいお祭りの開催を要望します。</p> <p>・まちづくりの取組として、伐採木の活用方法など検討願います。</p> <p>・偏りのない多様な人々が参加し、まちづくりアイデアが話し合える場の設置を検討願います。以下、アイデア例として①さくら通りの木の痛みが激しいので、植え替えも視野に樹木の検査、②地域のアルバイト情報や困りごと情報を共有できる電子アプリ『国立ご近所伝言板』の設置、③第三団地のバス停近くの緑のスペースでの団地への副収入が期待できるバーベキュースペースの設置、④谷保第五公園に、高齢者の運動スペース（手すり）、市民花壇の設置、⑤矢川公園の使用ルールの検討、防災ベンチの設置など防災機能の強化など</p>	<p>構想では、重点プロジェクト 01「市民まちづくりプロジェクト 100（通称：市民 100 プロ）（P-040）」として、日常的な小さな取り組みから、こんなことがあったら面白いといった、まちづくりのアイデアまで、人とまちとの関わりを増やし、まちを使いこなせるように、だれでも気軽にまちづくりに関わることを目指しています。</p> <p>今後、富士見台ミーティング等にご参加いただくなど、アイデアの実現に向けた、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>・道路は私たち市民にとって日常生活に密着した非常に重要なものであり、高齢化社会が進む中で、将来の交通量の変化に伴う安全性の検討など道路問題はこれまで以上に重要な問題です。都市計画道路 国立 3・3・2 号線、国立 3・4・5 号線</p>	<p>都市計画道路の事業内容については、東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）（平成 28（2016）年 3 月）の第 3 章 第四次事業化計画（優先整備路線の選定）に今後 10 年間（令和 7 年度まで）で優先的に整備する路線</p>

■ 「国立市富士見台地域重点まちづくり構想（案）」に対する市民からの意見募集の実施報告

ご意見の要旨	市の考え方
<p>(東延伸部)、国立3・3・15号線の事業内容を市民にもっと丁寧に説明し、交通量の変化に伴う、子どもや高齢者への安全性、騒音・環境汚染などの様々な問題を検討のうえ、構想の「歩きたくなる、出かけたくなる、さくら通りのネットワーク」の実現を願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 超高齢社会・人口減少社会に対して、この構想の全体の工程が見えない。都市計画道路 国立3・3・15号線や南武線の連続立体交差事業など周辺工事計画とリンクした構想の工程を検討願います。 ・ 富士見台地域を東西に貫通するさくら通り延伸に際して「周辺の緑とつながりが感じられる滞留空間や歩行空間の形成」と謳われているが、構想で示された概略地図には、都市計画道路が計画決定されている。さらに都市計画道路3・3・15号線が計画決定されていないにも関わらず、道路として明示されている。これらの道路がもし工事され完成に至れば、上記の「周辺の緑とつながりが感じられる滞留空間や歩行空間の形成」という理念をどう実現するか検討願います。 ・ 構想に都市計画道 国3・4・5号線、国立3・3・15号線の開通見込み時期を明記し、それに伴う交通量、防災治安、隣接市との交流、バス路線など公共交通の整備誘致の検討を願います。 	<p>(優先整備路線)として示されています。</p> <p>関係各課でいただいたご指摘・ご意見を共有し、今ある場所の価値を継承しながら、さらにその価値を高めていくという構想で示した整備方針をもとに、さらに市民の声を丁寧に聞きながら検討していきます。</p> <p>また、ご指摘のとおり、交通量の変化に伴う、子どもや高齢者への安全性や環境問題に関する視点はとても重要です。</p> <p>重点プロジェクト02「さくら通りを軸とした富士見台地域の魅力向上プロジェクト(P-044~051)」に示した「回遊性を生み出すさくら通りの魅力づくり(P-047~049)」、重点プロジェクト04「グリーンインフラを活用したまちの回遊化プロジェクト(P-060~067)」に示した「外出がもっと楽しくなる回遊性の向上(P-063~065)」、重点プロジェクト06「矢川プラスを拠点とした国立市の新たなにぎわいづくりプロジェクト(P-073~081)」に示した「矢川駅周辺の個性あるエリアをつなぐ回廊整備(P-077~078)」や「南武線の連続立体交差事業に合わせた矢川駅周辺のまちづくり(P-079~080)」に安全性、環境の視点を追記します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ さくら通りに関して、現在の相互通行の安全性の検討、沿道の魅力向上など一貫した施策を検討願います。 	<p>さくら通りは、富士見台地域の東西を貫く地域を象徴する通りであるため、沿道を利用する周辺地域住民の日常的な利用しやすさを考慮し、自転車道を設けて相互通行としています。</p> <p>現在、さくら通りの自転車道の一部が、狭くなっている箇所があり、譲り合いによる通行をお願いし、ご不便をおかけしていますが、桜の植え替えを行うときに合わせて通常の幅に広げる予定です。</p> <p>なお、大学通りは、自転車専用通行帯(自転車</p>

■ 「国立市富士見台地域重点まちづくり構想（案）」に対する市民からの意見募集の実施報告

ご意見の要旨	市の考え方
	<p>レーン) が設けてありますが、さくら通りと同様に自転車道について、東京都・警視庁・国立市で検討しています。</p>
<p>・将来を見据えたまちづくり構想では、地球環境がおかれている現状を鑑みて、脱炭素社会に向けた取組が、持続可能な未来に向け、今最も求められている重要なポイントだと考えます。今回の構想は、ソフト面が充実しているのに対して、ハード面での重要ポイントが抜け落ちていると思います。国立市域全体へのインパクトを考慮し、持続可能な未来のまちの姿に向け、大規模団地を活用した電気の自給を含めた脱炭素社会実現への取り組みを検討願います。</p>	<p>構想づくりの中で、未来に向けた持続可能なまちづくりとして、環境・脱炭素社会に関する意見をいただき「2重点プロジェクトを推進する上での姿勢(P-035)」として脱炭素社会の実現に向けた姿勢を記載しましたが、これまで以上に重要性を意識するため、方針5「富士見台地域ならではの環境・景観の魅力を高める(P-030)」の中に、脱炭素社会に向けた取組を追記します。</p> <p>また、重点プロジェクト06「矢川プラスを拠点とした国立市の新たなにぎわいづくりプロジェクト(P-073~081)」、重点プロジェクト08「UR国立富士見台団地をモデルとした住みたくなる、住み続けられる環境整備プロジェクト(P-092~099)」、重点プロジェクト09「未来に向けた重点エリア検討プロジェクト(P-100~105)」にも関連付けます。</p>
<p>・構想に、緑の基本計画で定められた内容を反映願います。(UR国立富士見台団地など大規模団地内に生育する既存樹木の保全、建替えの際には、コナラなどの雑木林を構成する樹種を植栽し、自然環境を復元など)</p>	<p>「02 構想の見方・使い方(2) 関連する計画等(P-008)」の中で、構想にまちづくり関連計画として「国立市緑の基本計画」(以下、緑の計画という)を示していますが、富士見台地域のまちづくりを進めるにあたっては、構想を協働まちづくりの手引書と位置付けると同時に他の国立市の関連する計画等に留意しながら進める必要があります。</p> <p>「02 構想の見方・使い方(2) 関連する計画等(P008)」に関連計画に留意しながら進める必要がある旨を追記します。</p>
<p>・公園のような緑が生い茂り、四季折々の花が咲く美しい庭がある国立富士見台団地(分譲)の建替え問題が、騒ぎだしています。さくら通りの景観を損ねる団地ではなく、今ある緑の保全や修繕・耐震補強ということも、まちづくりの観点から検討願います。</p>	<p>構想では、さくら通りの緑をはじめ、今ある場所の価値を継承しながら、さらにその価値を高めていくという整備方針を示しました。</p> <p>構想には強制力はありませんが、市民、地域活動団体、行政、事業者等が協力して、まちづくりを進めるための手引書として位置づけているこ</p>

■ 「国立市富士見台地域重点まちづくり構想（案）」に対する市民からの意見募集の実施報告

ご意見の要旨	市の考え方
<p>・国立富士見台団地（分譲）の建替え事業に際して「落ち着いたある豊かな緑と遊び場がある憩いの空間」をどう実現するかなど、地域課題や景観問題への対応を検討願います。</p>	<p>とから、関係者の皆様のご協力が欠かせません。今後ともご指摘・アドバイス等よろしくお願い致します。</p>
<p>・現在のまちづくり審議会の運営の正当性について不安に感じています。</p>	<p>まちづくり審議会については、市の第三者機関として、中立的な立場で各種審議していただいております。</p> <p>今後も市からの諮問に対し真摯にご対応いただけるものと考えております。</p>
<p>・矢川プラスについて、高齢者の多さや本屋やカフェなど人が集まる店が少ないといった地域特性を踏まえたうえで、人の流れを分析し、子どものためだけではない活用方法を検討願います。また、矢川上地区のまちづくりの地権者を交えた検討について、一部のエリアのぶつ切りではなく、四丁目全体で検討願います。</p>	<p>重点プロジェクト 06「矢川プラスを拠点とした国立市の新たなにぎわいづくりプロジェクト（P-073~081）」では、「矢川プラスを活用した地域の居場所づくり」（P-074~076）、「矢川駅周辺の個性あるエリアをつなぐ回廊整備（P-077~078）」や「南武線の連続立体交差事業に合わせた矢川駅周辺のまちづくり（P-079~080）」を活動テーマとして取り組んでいきます。</p> <p>この重点プロジェクトを推進するにあたり、今現在の地域特性を踏まえると同時に、新たなにぎわいづくりのための活用についても検討していきます。</p> <p>また、構想づくりの中で、たくさんの場所に関するご意見を分析する際、「場所の価値からみた空間の構造マップ（P-022-023）」に示したように、すべての場所が単独ではなく、周辺地域の場所と場所の関係性に影響を受け、エリアとしての特徴があり、魅力が向上していることが分かりました。</p> <p>一部のエリアのみの検討ではなく、周辺エリアを考慮したまちづくりを進めていきます。</p>
<p>・公団団地再編の検討に向けた、UR 都市機構、居住者、近隣住民、行政等の協議の場への指針の検討を願います。</p>	<p>これまで富士見台地域のまちづくりにおいて、UR 国立富士見台団地に関してたくさんのご意見をいただきました。</p> <p>構想では、いただいたご意見を「場所の価値（P-118~121）」と「取組ニーズ（P-122~P123）」として整理し、場所と場所との関係性を分析し、「場</p>

■ 「国立市富士見台地域重点まちづくり構想（案）」に対する市民からの意見募集の実施報告

ご意見の要旨	市の考え方
	<p>所の価値からみた空間構造マップ(P-022~023)」としてまとめました。</p> <p>さらに、構想で示した「重点プロジェクト01~10(P-036~037)」は、富士見台地域のまちの魅力を活かしながら持続可能なまちの実現に向け、これまでの市民参加において、大切にしたい場所の価値が集積している場所やまちづくりのニーズが多かった取組の中から、重点的・優先的に取り組むべきことをまとめたものです。</p> <p>構想では、UR国立富士見台団地が特に関連する取り組みについて、重点プロジェクト07「UR国立富士見台団地をモデルとした支え合いの仕組みづくりプロジェクト(P-082~091)」、重点プロジェクト08「UR国立富士見台団地をモデルとした住みたくなる、住み続けられる環境整備プロジェクト(P-092~099)」、重点プロジェクト09「未来に向けた重点エリア検討プロジェクト(P-100~105)」として示しました。</p> <p>今後、市民、地域活動団体、行政、事業者等が丁寧協議し重点プロジェクトを推進していきます。</p>
<p>・この構想の目的が、①公共施設の再編・シビックセンターの整備と②UR国立富士見台団地の大規模再生計画だけに見て取れます。この二つが市民の要求と合致しているのか、もっと丁寧に意見を聞いて欲しい。</p> <p>・また、地域包括ケアの推進については、自助・共助は大切であるが、公助がなければ進まないと思う。そのため、公共施設の再編や、シビックセンターの整備に多額の予算を投じるのではなく、現在の市民生活に本当に必要なところに予算を使うよう検討願います。</p>	<p>重点プロジェクト09「未来に向けた重点エリア検討プロジェクト(P-100~105)」で示したように、市役所をはじめとした公共施設の多くが今後20年間で段階的な更新時期を迎えることとなりますが、ご指摘のとおり、限られた財源を効果的に投入して、国立市の次の50年を見据え、各重点プロジェクトを推進していく必要があります。</p> <p>超高齢社会に対応する地域包括ケアシステムの実現に向けた取組として、UR都市機構とも連携しながら、重点プロジェクト07「UR国立富士見台団地をモデルとした支え合いの仕組みづくりプロジェクト(P082~091)」を推進していきます。</p> <p>今後も、市民、地域活動団体、行政、事業者等が将来像を共有し、丁寧に対話を重ねながらまちづくりを進めていきます。</p>

■ 「国立市富士見台地域重点まちづくり構想（案）」に対する市民からの意見募集の実施報告

ご意見の要旨	市の考え方
<p>・市民の意見が多く対立する問題である、まちづくりと公共施設再編計画の関係性を切り離さず、一体的な検討を願います。また、都合よく市民会議（市民参加）を利用し、市民サービスを切り捨てて、そこから財源を生み出しながら進める旧来型の開発行政の見直しを願います。</p>	<p>構想で示した「重点プロジェクト 01~10 (P-036~037)」は、富士見台地域のまちの魅力を活かしながら持続可能なまちの実現に向け、これまでの市民参加において、場所の価値（場所の価値とは：市民が生活する中で、大切にしている場所が持つ空間的な価値や活動する上での価値が集積している場所）やまちづくりの取組ニーズが多かった取組を踏まえ、重点的・優先的に取り組むべきことをまとめました。</p> <p>ご指摘のとおり、各々の重点プロジェクトで取組期限が異なることもあり、すべてが同時並行的に進めることはできませんが、すべての重点プロジェクトがお互いに関係性を持ちながら進めていく必要があります。</p> <p>関連する市の計画や関連する重点プロジェクト間で齟齬がないように、市民の声を丁寧に聞きながら、一体的に進めていきます。</p> <p>構想には強制力はありませんが、市民、地域活動団体、行政、事業者等が協力して、まちづくりを進めるための手引書として位置づけていることから、関係者の皆様のご協力が欠かせません。今後ともご指摘・アドバイス等よろしくお願い致します。</p>
<p>・これまでのまちづくり市民会議（市民参加）の運営実態に対して、批判的な意見を持っています。形式的な市民会議(参加可能な市民が限られた場)で検討するという、これまでの運営実態の見直しを願います。</p>	<p>これまで富士見台地域のまちづくりでは、住民主体の国立市富士見台地域まちづくり協議会(以下、協議会という)が中心となり、富士見台ミーティングを企画・運営し、その成果を構想として取りまとめることに取り組んできました。</p> <p>また、協議会では、富士見台ミーティング等で、これまで意見をいただく機会の少なかった若年層・働き世代・子育て世代に対しても、アンケート調査等を通じてたくさんのご意見をいただきました。</p> <p>しかしながら、ご指摘のとおり、ご意見を聞けなかった市民の方も沢山いらっしゃいます。</p> <p>今後、「05 構想の実現に向けて (P-112)」に示したように、重点プロジェクトを着実に進めるために、市民、地域活動団体、行政、事業者等が連</p>

■ 「国立市富士見台地域重点まちづくり構想（案）」に対する市民からの意見募集の実施報告

ご意見の要旨	市の考え方
	<p>携・協働していく場として富士見台ミーティングを継続していくことを予定しております。</p> <p>富士見台ミーティング等の市民参加の場に、多様な考えをもった方が、より参加しやすくなるよう努めます。</p>
<p>・重点プロジェクトの推進の際には、自然環境の保全・再生の専門家が参画して住民とともに計画・立案することを願います。</p>	<p>「05 構想の実現に向けて（P-112）」に示したように、重点プロジェクトを着実に進めるために、市民、地域活動団体、行政、事業者等が連携・協働していく場として富士見台ミーティングを継続していくことを予定しております。</p> <p>重点プロジェクトを推進するにあたり、多様な専門家・様々な立場の方が参加しやすいよう努め、多様なご意見を聞いていきます。</p>
<p>・国立市の居住者人口増加のため、以下検討願います。①シングルマザー・シングルファーザーが働きやすい職場環境を整備、②富士見台にあるしょうがいしゃセンターの更なる利用拡大、③幼児、学童が学べる施設を各地域に開設、④介護施設・養護施設をNPO法人だけに頼らず、市/委託で施設を新設、⑤URと交渉し、ペット同居許可し若者夫婦の入居者増加、⑥給食センター跡地を一時的に幼児・小学生の遊び場として活用、⑦定期的な市内案内観光バスの運行（運転手職の創出）、⑧市内の公園、通り等の名称表記、⑨地域で乱立するポスターの排除、⑩自転車専用道路（両側通行）整備、⑪樹木類に樹木名の設置、⑫富士見台地域の無電柱化</p> <p>・谷保第三公園についての要望として以下、検討願います。①背もたれ椅子など、人々がくつろげるベンチの配置検討及び設置、②強風時の砂嵐を防ぐため、全面芝生の設置、③テニスコートの利用方法の検討</p> <p>・団地の建て替えや都市計画道路 国立 3・4・5 号線の開通など 10 年後を見据え、バス路線誘致と用途地域見直しを検討願います。</p>	<p>構想では、重点プロジェクト 10「市民行政とのまちづくり体制構築プロジェクト(P-106)」として、地域における様々な課題に対応するため、庁内の連携体制の構築と持続可能な協働まちづくりを目指しています。</p> <p>いただいたご指摘・アイデアを関係各課で共有します。</p> <p>また、「05 構想の実現に向けて（P-112）」に示したように、重点プロジェクトを着実に進めるために、市民、地域活動団体、行政、事業者等が連携・協働していく場として富士見台ミーティングを継続していくことを予定しております。</p> <p>今後、富士見台ミーティング等にご参加いただくなど、アイデアの実現に向けた、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>

■ 「国立市富士見台地域重点まちづくり構想（案）」に対する市民からの意見募集の実施報告

ご意見の要旨	市の考え方
<p>・富士見台一・二丁目において谷保駅を中心としたまちづくりとして、①将来、団地の建て替えに伴う谷保駅の乗降客数の増加を考え、南武線の快速が谷保駅停車の要望、②谷保駅停留所の高速バスの増便、③谷保駅ロータリーの中央花壇にシンボルツリーや花壇設置による「見渡せる景色」の創出</p> <p>・南武線通りから富士見台地域の魅力発信として、①谷保第四公園南側に電車からも見える舞台（ダンス練習場など）設置、②週末、市役所周辺にキッチンカーの配備、③市役所建物の横断幕・垂れ幕を活用した個人・団体の活躍ニュースの広報</p>	
<p>・今回の重点プロジェクト01～10の内容に関して異論もなく、どの程度実行可能かを期待する。</p> <p>・構想の6つの整備方針、その方針案を具体化する10の重点プロジェクトの内容は、多岐にわたり極めて詳細で分かりやすく、協議に参加された市民と事業者、専門家の皆様のご苦勞とご尽力に心からの敬意を表します。</p> <p>・構想を読み、とてもたくさんの意見の交換があったことを知りました。丁寧になられた構想に感謝します。</p>	<p>引き続き、まちづくりへのアドバイス及び応援、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>